



2022年8月2日
株式会社 阿波銀行

株式会社共栄物流サービスの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社共栄物流サービス（代表取締役 森川 泰臣、本社：東京都大田区）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社共栄物流サービス
所在地	東京都大田区大森北一丁目 32 番 1 号
代表者	森川 泰臣
業種	総合物流業
設立	1988 年 10 月 13 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月2日



株式会社共栄物流サービス 代表取締役 森川 泰臣

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会	従業員の ウェルビーイングの 向上	心身共に健康で、働きがいをも って働けるよう、社員の 健康の維持に努めるとともに、 持続可能な働き方の実現を サポートします。	① (1)健康診断受診率の向上 (2)健康管理に関するキャンペーン・ 啓発活動の実施		
			② (1)2023年までに受診率100% (2)年1回確実に実施		
社会・ 経済	職場の安全 衛生の向上	災害防止のために、 社員一人一人へ安全衛生に 関する様々な機会を提供する ことに努めます。	① (1)安全衛生に関する研修の実施 (2)安全衛生パトロールの実施		
			② (1)年1回確実に実施 (2)年1回確実に実施		
環境	ゴミ・廃棄物 削減	未来の地球環境を守るため、 自社で排出する廃棄物の 削減に努めます。	① (1)コピー用紙の発注数削減 (2)納品書等紙の印刷物を削減した 安価な物流サービスの開発		
			② (1)2024年度中30%削減 (2022年度比) (2)2023年度中にリリース		
経済	DXの推進	RPAやAIを活用した デジタル化等のDXの 推進により働き方改革や 業務の効率化、ビジネス モデルの変革に取組みます。	① (1)RPAやAI、ローコードのアプリ作成ツール 等利用し事務作業を削減 (2)従業員の希望者に対しRPAや プログラミング等を学習する機会を提供		
			② (1)2024年度中、毎月100時間以上 削減（2022年度比） (2)2022年度中に第一回の候補者を 選定		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。